

法心 権 論
 何處動かざらん憐れむあるかは、留るる表十回ハ五つと
 宣傳文か郵送つれんといふ事を見り、思ひ半々に過ぐり
 りあらう。而して其の範圍は今日のみが、孰中、南西地方
 東に至るまで多く、次いで中島、並に福岡、山口、丸亀
 山形地方から青森にも及ぶものあり。尤も其の宣傳の
 形は、年々其の形、次第に不穏を起し、或は春書画に似
 せしめ、或は、百の手を盡して、傾倒してゐる。
 一而して、江田軍の意圖に致れぬもののみならず、又、ある範圍
 は今の軍隊組織の缺陷と、そのうち古犯者士の帰隊と、其の
 他を以て事情と相違して、軽々に看過する事や出来なかり
 もあらうと、根柢大なる
 別して、日中の軍隊組織は、實際用兵の侮いある一甲

隊の長が其代々、金中隊の代代と同じ意圖を有つたに於て
 隊員も其の意圖を固く守り、やがてあつたか、
 本隊に下りて来、我思為界の修め、口にて下りて後

ボルセヴィキの全盛

本隊に下りて来、我思為界の修め、口にて下りて後
 興と、ソビエトの建設的方面の研究と、其の動向と、其の地
 名及び原因の甚きボルセヴィキの非常な流行とを述べた。
 勿論地面は運動の中心地、ソビエト派一西の進退の脈の後
 世と、古典的理論の研究と共に、アハラスの地物史観に對し
 の哲學的根據無きとして、痛撃を加へることも増加した
 が、如しゆき、作用あるものと見らる。
 又、其の動向の修め、其の性質と、其は其の性質に上り
 性躍振りといふこと、夕、不意に其の不意に日本に於て